

学校再編整備に係る各種団体の長等および保護者等説明会 質疑応答一覧

西庄地区各種団体の長等および保護者等説明会（令和5年8月24日開催）

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少する中、市内中学校の数は将来も3校を維持するのか。 ・市の人口が、今後増える見込みはあるのか。 ・人口増について単なる希望でなく、具体的なプランとして市の全体像を示していくべき。 ・都市計画の中で、教育だけでなく市の発展に耐えられるように、これから100年存続できるような学校配置を考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校を造ることで人口が増える可能性がある。また、答申書の後期再編整備（概ね10年）時の状況次第で、再検討も必要になる可能性がある。 ・中学校の数は2校と3校どちらが適切か、今は決められないが、再編整備案では、後期までの期間で坂出中と東部中の再編を検討することとなっている。 ・非常に厳しいが、駅前など市の魅力を充実させて人を呼び込む取組みを全庁挙げて、行っている。 ・市役所では、「坂出市学校再編整備庁内検討推進委員会」を設置し、小中一貫教育の導入、対象校の組み合わせ、再編整備の時期、整備場所、整備手法等について市としての案を検討している。庁内で検討中の事項について、地元の意見を参考にしたいので、意見を聞かせていただきたい。 ◇小中一貫教育について 学校の中に小・中の先生が居ることによって、例えば、小学生に中学校の先生が教えることが可能となる。また、小中ギャップの問題に効果的との調査結果もある。 ◇対象校区の組合せについて 東部小、金山小、西庄小、東部中を再編整備の対象として考えている。西庄小については、距離の問題もあるので、前期か後期か、地元の考えを伺う。 ◇再編の時期について 魅力的な校舎とするために民間活力を利用するPFI方式なら建設に6、7年。従来の方式を用いるなら5年程度かかる。最短で開校はR10.4月だが、やり方

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申では、通学距離を 4 km以内としているが、納得できない。4 km以内であっても遠方からの通学環境の整備をしてほしい。 ・ 学校として必要な施設の積み上げは、小学校と中学校で違うのではないか。 また、クラブ活動など同じ時間にグラウンドを使う場合をどのように考えているのか。 ・ 5年で開校できるのか。 ・ 前期再編整備の対象校に西庄小が入るなら白峰中へは行けなくなるのか。 ・ 西庄小は前期であれば5年で再編対象、それを選択しなければ 10 年ということか。 ・ R10.4 までの間、今の児童数に対する教育を続けていくこととなるのか。再編へ向けた子どもへのケアはあるのか。 ・ 交流する機会を設けるなら、希望者は東部小、金山小に今から通学させてもいいのではないか。 	<p>によっては遅れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇開校場所について 東部小、金山小、西庄小、東部中のうち、人口密度や校地面積の広さから東部小学校を考えている。 ◇整備手法について PFI 方式、従来方式について検討中である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学距離について、国の目安として小学生の場合、徒歩通学の範囲で 4 km、また、スクールバスの場合は、1 時間以内の範囲に収まるようにという指針がある。 ・ 国の基準に基づいた必要な施設は、東部小で満たせる。野球やサッカーなどの部活動の場所として、東部中を第 2 グラウンドとすることを検討している。 東部小の今のグラウンドは広くないので、新校舎をグラウンドに建てられるか検討中である。現在の校舎を取り壊して、一旦更地する可能性もあり、その場合は仮設校舎も検討する。 ・ 最短の従来方式でも、基本設計 1 年、実施設計 1 年、工事 2 年かかるので、R10.4 月に開校するには、R6 から設計しないと厳しい。 ・ 前期で再編対象となれば、西庄小の生徒は、小中一貫校へ行っていただくのが妥当と考えている。後期で再編となれば、再編されるまでは、今までと変わらない。 ・ 一貫校の開校時に急に多人数の学級となり、学習や対人関係に対する不安を低減するために、再編に向けた 3 小学校が事前に交流する機会を設けることを考えている。 ・ 再編までに認めてしまうと、西庄小の児童がいなくなってしまう恐れがあるので、今までどおりで考えている。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・進学する中学校区はどのようなのか。 ・生まれたところで教育に差が出るのではないか。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西庄小は児童数が少なく、行事を開催するにしても PTA の大人が足りなく運営自体が危ぶまれている。5年で再編できるなら、来年から西庄小に入る子どもは減る。 ・少人数なので、先生の目が届きやすいといったことをアピールして、子どもを集めたり、西庄校区以外から通学を可能としたり、また、特徴ある授業を行うことは出来ないのか。 ・別の地域に住んでいるが、子どもを西庄小へ通わせたいと思っている。西庄地区には自然が多く、教育環境としても良い。 また、従来通りの教育ではない方法、例えばフリースクールの実施などを考えてはどうか。 ・江尻町の合同庁舎付近が候補地の一つになっていると聞いたことがあるが、どうか。 ・答申では小中一貫教育は、検討事項としているのに、導入ありきの検討をしているよう思われる。元々諮問事項は、適正規模・適正配置であるで、検討の順番の整合性が取れてないのではないか。 諮問事項の目的を達成した後の話となるべきではないか。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育のメリットばかり説明しているが、デメリットもあるのではないか。時代の流れだけで導入しようとしているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、西庄地区は白峰中と東部中の選択制だが、再編後は、校区審議会での決定となるが、再編校での指定を考えている。 ・気持ちは分かるが、再編までは西庄小学校を維持させていただきたい。 ・他の地区でも同じような意見は出ている。対応の即答は難しいが、庁内検討推進委員会には報告する。 ・江尻町の付近には、市が所有する土地が無く、購入する費用が必要となり、購入手続きに2、3年はかかるので、学校建設がさらに遅くなるため難しい。 ・適正規模・適正配置だけが諮問事項の柱でなく、よりよい教育環境の整備を目指しており、そのために小中一貫教育の導入を検討している。

質疑・意見	回答
<p>現状のまま5年間経過し再編するとなると、西庄小へ行かせたくない人も出てくる。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年から西庄小でなく東部小への通学を認めたら、西庄小学校への入学者がなくなる。実際は、色々な理由付けをして別の学校へ行っているが、不公平感のないルール作りをお願いします。 <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の説明会は、学校再編をしなければならぬということの説明、今回の意見を計画に反映してほしい。 	